

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 23 2004年2月12日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子

(21)4919



大曾根勝正

(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

日立電鉄線存続を

日立電鉄は1月27日、記者会見で、3月下旬に国土交通省に日立電鉄線（常北太田駅～鮎川駅間）の廃止申請をし、2005年3月で廃線する事を明らかにしました。（老朽化、赤字会計のため）安全運行を継続することは困難とし、通学バスの代替を検討したいと述べています。日立市長は1月30日の記者会見で、引き続き存続を求める考えを明らかにしていますが、財政負担は困難、存続が無理なら代替をお願いすると述べています。

この間、佐竹高、里美高、太田2高の「ちん電守ろう会」や大沼学区コミュニティ推進会などで署名運動が広げられたり、日立電鉄と県、日立市、太田市に申し入れられています。

日本共産党はこれまで、大内久美子県議と日立、常陸太田市議など5人で日立電鉄に存続の申し入れをしたり、12月議会でも大曾根市議が質問し、公的支援等、存続のために力を尽くすことを求めています。

日立電鉄線存続のためには、日立電鉄が廃線申請をやめて、地元自治体などと協議することに同意してもらうこと、沿線自治体や県などが協議会を立ち上げて公的支援の検討をすることです。地域の方や利用者の署名運動は大きな力です。ピーク時より利用者が激減したといっても、一日平均4,800人、年間177万人にのぼる利用者があり、そのうち65%が通勤、通学定期券利用者です。住民生活に重要な交通手段を守るため、日本共産党は引き続き、皆さんと力を合わせてまいります。

< 鹿島鉄道・石岡～鉾田間の場合 >

鹿島鉄道は百里基地ジェット燃料輸送廃業にともなって収入激減、存続が危ぶまれていましたが、小川高校などの「かしてつ応援団」による存続のための署名運動が広がりました。2001年12月、鹿島鉄道沿線5市町村の首長、議長、委員長、県の企画部長で構成する鹿島鉄道対策協議会を立ち上げて協議、2002年に、02年度～06年度の5年間で二億円の財政支援を県と沿線市町村であることを決めました。

住民、利用者アンケートに取り組み意向調査をしたり、経営改善5か年計画を作成しています。利用促進策として、駅周辺に施設を整備して駅中心のまちづくりを

する・自治体のシルバーパスや福祉施策との連携・パーク&ライド（サイクル）の推進・サイクルトレインの実施・レトロを売りにした企画・イベント・体験ツアーと乗車券のセット販売・マイレール意識向上として教育でとりくむ・ロケ誘致・雑誌「鉄道ファン」への売り込みなどです。鹿島鉄道愛好会もあります。15日にはマイレール・フォーラムが鹿島鉄道活性化検討委員会主催で開かれ、講演とパネルディスカッション「ふるさとの鉄道を考える」をおこないます。

みんなにやさしい公共交通のあり方を考え、国などの財政支援、そしてみんなの知恵を寄せ合って、存続させることが求められているのではないのでしょうか。（ホームページを参考にしました。）

日本共産党 春を呼ぶつどい

2月15日（日）午後5時～7時
多賀市民会館（電鉄プラザ4階）

お誘いあってお気軽にご参加ください。

- * お車でご来場の際は駐車料金がかかります。
- * 軽食がです。アトラクション余興飛び入り参加者歓迎です。歌あり、ミニ抽選会ありの楽しいつどいです。
- * お問い合わせは～

日本共産党日立市委員会（担当小林真美子）

TEL0294（53）8501

FAX （53）8502（メールはホームページから）

日本共産党は憲法違反の政党助成金を受け取らない政党です。みなさんのご寄付としんぶん赤旗の収入等で活動しています。五百円募金のご協力よろしくお願いたします。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.icp-net.jp/ibahoku> です。

「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。